中 心 市 街 地 等 再 編 調 査 特 別 委 員 会

1　日　　時　令和８年３月 16 日（月曜日）

午後２時48分～午後３時06分

2　場　　所　委員会室

3　出席委員

村　田　弘　司	委員長	竹　下　駿	副委員長
竹　岡　昌　治	委　員	山　中　佳　子	委　員
三　好　睦　子	委　員	岡　山　　隆	委　員
秋　枝　秀　稔	委　員	杉　山　武　志	委　員
戎　屋　昭　彦	委　員	藤　井　敏　通	委　員
末　永　義　美	委　員	山　下　安　憲	委　員
石　井　和　幸	委　員	井　上　　敬	委　員
三　善　庸　平	委　員		

4　欠席委員　な　し

5　委員外出席議員

荒　山　光　広　議　　長

6　出席した事務局職員

岡　﨑　基　代	議会事務局長	寺　埜　真　輔	議会事務局議事調査班長
中　島　高　輝	議会事務局庶務班長		

7　説明のため出席した者の職氏名

な　し

8　会議の次第は次のとおりである。

午後２時48分開会

○委員長（村田弘司君）　それでは、ただいまより、中心市街地等再編調査特別委員会を開会いたします。

議長、報告等ありましたらお願いします。

○議長（荒山光広君）　ございません。よろしくお願いします。

○委員長（村田弘司君）　それでは、これより調査事項に入ります。

先日の委員会で、美祢線の復旧と連動した中心市街地のまちづくりに関連する駅舎を含む駅周辺の整備について、各分科会で協議した事項を報告をしていただきました。その内容をまとめて、要望（案）を作成しましたので、内容を説明します。

そしたら、私のほうで、これちょっと長いですけど読まさせていただきます。

美祢市長宛て、本特別委員会の委員長名で発出するものです。

美祢線の復旧と連動した中心市街地のまちづくりに関する要望書――要望、これが表題でございます。

本文にまいります。

美祢駅を中心とする本市の中心市街地は、長年にわたり市民の生活・経済・文化の中心として重要な役割を果たしてきました。しかしながら、加速する人口減少は、中心市街地の空洞化をはじめとした様々な課題を生み、にぎわいの創出が急務となっています。

このような中、図書館を核とした複合化施設の整備やBRTによる美祢線の復旧が進む転換期であるいまこそ、中心市街地のまちづくりに取り組む好機であります。

このたびは、公共交通の拠点である「駅」やその周辺の一体的な再編整備により利便性の向上を図り、持続可能なまちづくりに取り組むべく、次の事項について要望します。

１としまして、複合化施設整備等に関する事項、これ、ちょっと中身が分かれておりますので、その中の１つ、子育て世代の集客と地域活性化に向けた水辺空間の設置、中身は、涼を感じられる水辺空間は、安全に屋外活動を楽しめる貴重なインフラとなることから、複合化施設前の広場に水遊び場を設置することで、来場者層の拡大と長時間の滞在につなげ、周辺施設や商店等の利用の増加を図る。

また、こどもたちの遊び場を媒介に、親同士の交流、ペアレンティング・コミュニティと言いますがこれが発生する――自然発生することで、地域のつながりを深

める場とする。

２つ目としまして、さくら公園との一体的な活用、吉則橋からさくら公園ステージ広場や遊びの広場までの川岸の歩道を整備し、一体的・連続性を作り出す。

施設整備に伴い廃止される市設駐車場の代替検討、４つ目として、民間活力による効率的で質の高い施設運営の検討、業務の効率化に向けた関連部署の集約です。これが１の中身です。

大きな２として、美祢線の復旧に関連する事項、その中の１つとして、駅舎や線路などの有効活用。中身ですが、BRTと接続する美祢駅と於福駅について、改築を含め交通の要所、観光窓口となるターミナル駅として、機能性、利便性の強化を図る。

地域が一体となるまちづくりのため、鉄道資産について、譲渡・無償貸与・技術支援を求めるとともに、老朽化した陸橋を撤去する。

中身の２として、市内全域からの交通アクセスの改善、複合化施設の利用促進に向けたあんもないとと――あんもないと号の増便、これは、大田中央から美祢駅までの便の於福経由と伊佐経由の周回ルートを再編検討する。

そして、大きな３つ目としまして、３といたしまして、持続可能なまちづくりと負担軽減、まちづくりの新たなシンボルとなる上記１、２については、自治体、JR等と一体的に進めるとともに機能性、利便性はもとより持続化の――持続可能性の観点から有効な制度を活用し、将来にわたって大きな負担とならぬよう費用削減に努め、自治体の負担軽減を図る。

以上でございます。

これが、要望（案）の内容でございます。

この要望（案）について、質疑、意見はありませんか。井上委員。

○委員（井上　敬君）　前回の会議から当部会で検討した結果、追加の要望が出ましたので申し上げます。

多目的広場のよく見える場所に、美祢市の重要な資源である大理石を使った彫刻を設置する。その際は、来福台の中に展示されている大理石を使った彫刻作品の一部を移設し活用する。市の魅力発信と産業の活性化につながるというものです。

要望書への追加を検討していただきますようお願いします。

○委員長（村田弘司君）　井上委員の御発言でいうと来福通り――来福台にあります

彫像等の移設をして、ここに、駅前に据えて集客を図るということですか。それを入れてほしいという要望ですね。分かりました。ほかにありますか。竹岡委員。

○委員（竹岡昌治君）　２番の美祢線の復旧に関連する事項という中でですね、２枚目になるんですが地域が一体となるまちづくりのためと書かれてるんですが、より分かりやすいようにって言ったら悪いんですが、駅舎の裏って言ったら悪いんで、鉄道のどう言うたらええかな、分断――まちがされてると。それを何とかうまい具合に入れられんもんかなと、より明確に、一番ここが大事なところなんで。

だから、いわゆる鉄道敷でまちが分断されちょると。したがって、それをもう１回一体化して、まちを。その辺をちょっと表現は工夫していただいても結構ですが、より強くここを訴えてほしいなと思います。

○委員長（村田弘司君）　分かりました。

今、お二方より意見が出されました。ほかにございませんか。三好委員。

○委員（三好睦子君）　２点あるんですけれども、２点。

複合化のところ、美祢線の復旧に関連する事項のところの次のページの、２ページの少し前、市内全域からの交通アクセスの改善ってありますが、この中で、あんもないと号の増便とあります。その中で、大田中央から美祢駅ってあるんですけれど、大田中央に行くまでが大変な――ちょっと美東の場合ですけど、秋芳――ちょっと秋芳の方がおられるから、ちょっと美東で話ししますけど、大田中央行くまでが大変なんですけれども、これらの改善のことは書いてありませんけどええんでしょうか。

それともう１点は、先ほど戻りまして、美祢線の復旧関連事項なんですけれど、１番の駅舎や路線の有効活用、これはいいとして、於福駅とか――美祢駅と於福駅に――の改築を含めとありますけど、規模とかいうのはどういう――規模か内容かっていうか――っていうところは、この中では読み取れないんですけどどうなんでしょうか。

○委員長（村田弘司君）　ちょっと今２点おっしゃったけど、私のほうで、分かる範囲で、ちょっと一応お答えしておきます。

今の大田中央から美祢駅に行く便ですね。それが伊佐経由で行く便は１日十何本あるんですよ。

○委員（三好睦子君）　伊佐経由。

○委員長（村田弘司君）　伊佐経由です。於福経由というのが、秋芳を通る便が朝１便と夕方１便しかないですよ。それで周回ができない状態です。

今後、BRTを改修できたときに、於福駅のターミナル駅の２番目のターミナル駅としてね、秋吉台・秋芳洞を通っていく便として周回できるんですね、美祢駅と大田中央を結んで。非常に利便性が上がるし、公共交通機関として有効でもあるし、BRTが活きてくるということがあるんで、これが入ってます。

それで、今おっしゃったのが、恐らく三好議員が――委員が言いたいのは、大田中央まで、自分の家から行くのに時間がかかるでいいですか。そういう意味でしょうね。

○委員（三好睦子君）　大田中央行くのに、真名田のほうは、美祢に行く便がないんですよね。だから綾木とか真名田とか。赤郷はあかまる号があるから、それで大田中央まで出れる可能性はあるんですけれど、帰りが大変だろうと思うんですね、あかまる号の場合。だから、ここの前では、この交通の便がちょっと大変だろうと思うんです。

○委員長（村田弘司君）　分かりました。

そしたらですね、これは結局BRTを中心として考えておりますんで、今後公共交通協議会、美祢市が持ってますから。JRの関係じゃないですよ、美祢市が持ってますんで、そこで今度たたいてもらう、協議してもらうようになります。その中に、これを入れてもらいたいと思ってますんで。

今、三好委員がおっしゃったようなことも、美祢市の公共交通協議会のほうで議論してもらわないとお金もかかりますし、どういうルートで、また、バス停をどうするかということも含めてやってもらわなくちゃいけません。ですから、これはBRTの議論とはちょっと別のところになります。よろしいでしょうか。

それともう１点、今の駅舎の改良、改築の規模のことは載ってないというふうにおっしゃいましたけど、今、まだやってもらいたいという要望です。ですから、何ぼかけて、例えば10億掛けて莫大なものにしてくれとかそういうことを言う段階ではありませんので、具体的なものはまだ出てきません。

ただし、要望として、それはこういうことが必要ですよと。これだから必要ですよということを今回要望するということで、具体的なことはこれからです。ということでいいですか。

○委員（三好睦子君）　分かりました。

○委員長（村田弘司君）　ほかにありますか。戎屋委員。

○委員（戎屋昭彦君）　複合施設、大きい１番の（1）のところでですね、周辺施設や商店等の利用の増加を図るということで、当然これ大変いいことだと思うんですけど。

やはり、これどうなんですかね。利用を図るっていうか、やっぱり市民と一緒になったというかその辺りで、商店の方々とかいろんな言葉を入れるなりして、一緒になって活性化を図っていくというところがどうかなというふうに思ったんで、ちょっと今言いました。

○委員長（村田弘司君）　ちょっと今おっしゃったのどこの部分ですかいね。

○委員（戎屋昭彦君）　１番の複合施設整備等に関連する事項の（1）の上から４行目ですか、周辺施設や商店等の利用の増加を図るということで、確かにこれ非常に増加を図ることでいいことなんですけど、それは、やはり市民の方々と一緒になって、こういったことをやっていくということで。

入れるかどうか分からんですよ。商店の方々とかそういうことの表現を、一緒になって議会もやってますよという表現をどうかなということで。

○委員長（村田弘司君）　分かりました。ほかにありますか。岡山委員。

○委員（岡山　隆君）　複合施設整備等に関する事項なんですけど、全体的に言えることなんですけど、やっぱり美祢市のまちづくり、一体感を持つために、やっぱりこの中心市街地のところに、目に分かるように、石灰、大理石とそしてちょっと出たんですが、あとは石炭関係、そして銅の関係、これがやっぱり美祢市が３つの貴重な地質遺産でできている地域であるということをもう少しそういう形で示していくことがちょっと必要じゃないかと思ってますので、それを今後上手にどういう形のものを、彫刻なんかどういった形で示していくんかということをより明確にしていったほうがいいかなとは思ってます。

以上です。

○委員長（村田弘司君）　おっしゃることよく分かります。ジオパークの赤・黒・白の象徴的なものを表したらいいんじゃないかということで、先ほど井上分科委員――会長のほうからもありましたけども、石造も大理石、石灰ですからね。これは、白に当たる部分が今後出てほしいということで、今お伺いしたんですが。

○委員（岡山　隆君）　あるのはそれ。しっかりとそれを有効活用したほうがいいと思いますので、それ以外のものを合わせて入れるという形を検討されたほうがいいんじゃないかということです。

○委員長（村田弘司君）　文言として、ちょっと入れることもできるでしょう。ちょっと考えてみましょう。井上委員。

○委員（井上　敬君）　(2) 番なんですけども、さくら公園との一体的な活用ということで、一体的・連続性をつくり出すっていうふうに書いていただいてるんですけども、今、さくら公園のステージ広場から遊べる広場が、川を渡るのが飛び石でしか渡れないので、要望――部会の要望としては沈下橋、もしできれば、バリアフリーでつながったら本当に一体的になるんじゃないかということで要望してるんで、もし文言が入れば入れていただければいいなと。

○委員長（村田弘司君）　分科会としては出してましたよね。これは、一体性・連続性をつくり出すということでまとめてありますけども、できれば具体的に沈下橋っていうか……

○委員（井上　敬君）　バリアフリーでつなげたい。

○委員長（村田弘司君）　ということですね。今の飛び石じゃあちょっと小さい子は渡れないと、そういう意味ですね。

○委員（井上　敬君）　要望としてお願いします。

○委員長（村田弘司君）　あんまり細かく指摘しても要望書として成立しませんので、ある程度のことはまとめて記載するということで、皆さん、御理解はしていただきたいというふうに思います。ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（村田弘司君）　ないようでしたら、それでは基本的には、私が先ほど皆さんに読み上げました要望（案）をもって、市長に提出することにいたしたいと思います。ただし――いいですかね、基本的にそれでいいですね。いいですね。異議はないですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（村田弘司君）　ただし、先ほど言われました駅舎の分断を――駅舎など――駅舎によって分断されておる東西か左右かよく分かりませんけど、そういうようなのがいいとかいろんな意見がありました。そういうことを盛り込んだ上でやる

ということ。

これ、ただいまの要望について、会議規則第100条の規定によって、その字句、それから数字、その他の整理を要することは、その整理を委員長、私に委任されたいというふうに思います。それに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（村田弘司君）　異議なしと認めます。

それでは、よって、先ほど頂戴しました意見等も踏まえまして、字句、数字、その他の整理は、委員長に委任をしていただくことになりました。

それでは、基本的にはこの要望（案）をもって、本会議にて委員長報告を行い、議長へ提出することといたします。

今回は、特に美祢線の復旧と連動した駅舎を含む駅舎部分――駅周辺の整備について要望を行いますけれども、今後も引き続き分科会を含め、中心市街地のまちづくりに向けた調査・研究を行っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

その他、委員の皆さんから何かありましたらどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（村田弘司君）　ないようでしたら、本日の委員会はこれで散会します。お疲れさまでした。

午後３時06分閉会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

令和８年３月16日

中心市街地等再編調査特別委員長